IΒ 秋田県週休2日制モデル工事に関する建設部運用 秋田県週休2日制モデル工事に関する建設部運用 秋田県週休2日制モデル工事実施要綱(以下「要綱」という。)における、建設部の運用を 秋田県週休2日制モデル工事実施要綱(以下「要綱」という。)における、建設部の運用を 次のとおり定める。なお、営繕工事については、別途定める。 次のとおり定める。なお、営繕工事については、別途定める。 要綱第2条関係(定義) (略) 要綱第2条関係(定義) (略) 要綱第3条関係(休日) 要綱第3条関係(休日) 1 (略) 1 (略) 2 要綱第3条第2項の「別に定めるところ」とは、次の①から③のとおりとする。 2 要綱第3条第2項の「別に定めるところ」とは、次の①から③のとおりとする。 ①休日作業日と同一の1週間で確保することを原則とする。 ①休日作業日と同一の1週間で確保することを原則とする。 ②降雨等、やむを得ない事由により作業できない日が続き、その日を休日にした場合に工事 ②降雨等、やむを得ない事由により作業できない日が続き、その日を休日にした場合に工事 の進捗に重大な影響を及ぼすおそれがある場合は、休日作業日が属する週の前後の週で当 の進捗に重大な影響を及ぼすおそれがある場合は、休日作業日の前後の週で当 該休日作業日の振替休日を確保した場合においても完全週休2日と認める。 該休日作業日の振替休日を確保した場合においても完全週休2日と認める。 ③②による場合、事前協議済みの振替休日について、休日作業日が属する週の前後の週の期 ③振替休日をさらに振替することは認めないものとする。 間内に取得する場合に限り、再協議による振替休日の変更を認める。 要綱第4条関係(モデル工事の指定等) 要綱第4条関係(モデル工事の指定等) 1 次の工事については、当面の間、対象外とする。 1 災害復旧工事については、当面の間、対象外とする。 (1)~(3)(追加) (1)災害復旧工事 (2) 空港土木請負積算基準における維持工事 (3) 工程上の制約がある工事 2 発注者は、対象工事契約後、都度、技術管理課が指定する一覧表を更新するものとする。 2 発注者は、実施する工事が決定した際には、都度、技術管理課へ報告するものとする。 3 その他の取り扱いは、以下のとおりとする。 3 その他の取り扱いは、以下のとおりとする。 (削除) (1)発注者指定型 ①発注概要書に別紙1のとおり記載するものとする。 ①発注概要書に別紙1のとおり記載するものとする。 ②特記仕様書及び現場説明書に別紙2のとおり記載するものとする。 ②特記仕様書及び現場説明書に別紙2のとおり記載するものとする。 (削除) (2) 受注者希望型 ①特記仕様書及び現場説明書に別紙2のとおり記載するものとする。 ②発注者は、受注者と施工計画書の提出前に協議を行い、週休2日の実施を判断するものとす 4 (略) 4 (略) 要綱第5条関係(工事成績評定) (追加) 「受注者の責によらない理由」とは、特殊な事情により工事完成を優先させたもの、災害等に 起因する資材調達の遅延等、やむを得ない理由によるものとする。 要綱第6条関係(工期変更) (略) 要綱第6条関係(工期変更) (略) 要綱第7条関係(工事費の積算) 要綱第7条関係 (工事費の積算) (土木工事における工事費の積算) (土木工事における工事費の積算) 1 土木工事における積算は、以下のとおりとする。 1 土木工事における積算は、以下のとおりとする。 (1)発注者指定型とするの場合 (削除)

- (1) 発注時
- 4週8休以上の達成を前提とした補正係数を、直接工事費及び間接工事費に乗じるものとする。
- (2) 精算変更時

現場閉所の達成状況を確認後、4週8休に満たない場合は、達成状況に応じて補正係数の見直しを行うものとする。

(削除)

(3)~(4)(略)

(港湾工事における工事費の積算)

2 港湾工事における積算は、以下のとおりとする。 (削除)

(1) 発注時

4週8休以上の達成を前提とした補正係数を、直接工事費及び間接工事費に乗じるものとする。

(2)精算変更時

現場閉所の達成状況を確認後、4週8休に満たない場合、補正分を減額変更する。

- (3)直接工事費及び間接工事費の補正係数は別表3による。
- (4)市場単価の補正係数は別表4による。
- <u>(5)</u>積算基準が異なる複数工種区分を有する工事については、主たる工種の間接工事費率を適用する。判断基準は以下のとおりとする。

経費のイメージ

直接工事費間接工事費

- ①港湾基準の工種(労務費、機械経費の補正) ①>②:港湾基準の間接費率
- ②土木基準の工種(労務費、機械経費の補正) ①<②:土木基準の間接費率
- (3) (削除)

(空港工事における工事費の積算)

- 3 空港土木請負積算基準を適用する工事における積算は、以下のとおりとする。 (削除)
- (1) 発注時
- 4週8休以上の達成を前提とした補正係数を、直接工事費及び間接工事費に乗じるものとする。
- (2)精算変更時

現場閉所の達成状況を確認後、4週8休に満たない場合は、達成状況に応じて補正係数の見 直しを行うものとする。

- (3) 直接工事費及び間接工事費の補正係数は別表5による。
- (4)市場単価の補正係数は別表2による。
- (5)積算基準が異なる複数工種区分を有する工事の取り扱いについては、事業所管課と協議すること。

①発注時

4週8休以上の達成を前提とした補正係数を、直接工事費及び間接工事費に乗じるものとする。

②精算変更時

現場閉所の達成状況を確認後、4週8休に満たない場合は、達成状況に応じて補正係数の見直しを行うものとする。

(2) 受注者希望型の場合

①発注時

直接工事費及び間接工事費の補正は行わず、通常積算とする。

②精算変更時

工期内において4週6休以上の現場閉所を達成した場合は、達成状況に応じて補正する。

(3)~(4)(略)

(港湾工事における工事費の積算)

- 2 港湾工事における積算は、以下のとおりとする。
- (1)受注者希望型のみを対象とする。
- 1)発注時

当面の間、直接工事費及び間接工事費の補正は行わず、通常積算とする。

②精算変更時

工期内において4週8休以上の現場閉所を達成した場合は、別表3の補正係数を乗じるものとする。

- (3) (追加)
- (4) (追加)
- (2) 積算基準が異なる複数工種区分を有する工事については、主たる工種の間接工事費率を適用する。判断基準は以下のとおりとする。

経費のイメージ

直接工事費間接工事費

- ①港湾基準の工種(労務費、機械経費の補正) ①>②:港湾基準の間接費率
- ②土木基準の工種(労務費、機械経費の補正) ①<②:土木基準の間接費率
- (3) 4週8休以上の現場閉所を達成した場合、港湾工事市場単価を適用する工事について、港 湾工事市場単価工種毎に設定された、別表4の補正係数を、標準市場単価(施工規模等補正 後)に乗じるものとする。
- (空港土木請負積算基準を適用する工事における工事費の積算)
- 3 空港土木請負積算基準を適用する工事における積算は、以下のとおりとする。
- (1) 受注者希望型のみを対象とする。また、維持工事は対象外とする。
- 1)発注時

当面の間、直接工事費及び間接工事費の補正は行わず、通常積算とする。

2精算変更時

工期内において4週6休以上の現場閉所を達成した場合は、閉所状況に応じて別表5の補正 係数を乗じるものとする。

(追加)

(追加)

(2) 積算基準が異なる複数工種区分を有する工事の取り扱いについては、事業所管課と協議すること。

- 4 空港灯火施設工事及び電気施設工事積算基準を適用する工事における積算は、以下のとおり (追加) とする
- (1)「秋田県週休2日制モデル工事に関する営繕課運用」によるものとする。
- (2) 積算基準が異なる複数工種区分を有する工事の取り扱いについては、事業所管課と 協議すること。

要綱第9条関係 (その他)

- 1 余裕を持った工期設定を行うこと。ただし、舗装工事(新設及び修繕・補修)については、 「 I. 秋田県土木工事共通仕様書参考資料の工程計画管理基準(案)による場合」により工期 設定を行うこと。
- 2 発注者は、施工計画書及び実施工程表について、4週8休以上を考慮したものを受注者に提│2 発注者は、施工計画書及び実施工程表について、4週8休以上を考慮したものを受注者に提 出させるものとする。
- 3 各種参考様式(別紙3~4)については、監督職員から現場代理人に提供するものとする。
- 4 発注者は、受注者に対し、別紙4を参考とした工事名標示板を現場に設置させるものとする。 (削除)

附則

この運用は、平成29年5月30日から施行する。

附 則(平成30年3月27日技管-997 一部改正)

この運用は、平成30年3月27日から施行する。

附 則(平成30年10月15日技管-514 一部改正)

この運用は、平成30年10月15日から施行する。

附 則(令和元年6月7日技管-169 一部改正)

この運用は、令和元年7月1日から施行する。

附 則(令和2年3月13日技管-733 一部改正)

- 1 この運用は、令和2年4月1日から施行する。
- 2 この運用による改正後の秋田県週休二日制モデル工事に関する建設部運用の規定は、 令和2年4月1日以降に入札公告等(指名競争入札にあっては指名通知をいい、随意 契約にあっては見積依頼通知をいう。)を行う建設工事から適用する。

附 則(令和2年9月8日技管-299 一部改正)

- 1 この運用は、令和2年10月1日から施行する。
- 2 この運用による改正後の秋田県週休二日制モデル工事に関する建設部運用の規定は、 令和2年10月1日以降に入札公告等(指名競争入札にあっては指名通知をいい、随意 契約にあっては見積依頼通知をいう。)を行う建設工事から適用する。

附 則(令和3年3月11日技管-584 一部改正)

この運用は、令和3年4月1日から施行する。

附 則(令和3年6月7日技管-161 一部改正)

この運用は、令和3年7月1日から施行する。

附 則(令和3年9月9日技管-341 一部改正)

この運用は、令和3年10月1日から施行する。

附 則(令和4年3月1日技管-693 一部改正)

この運用は、令和4年4月1日から施行する。

要綱9条関係(その他)

- 1 余裕を持った工期設定を行い、少なくとも標準工期を下回る工期設定は行わないものとする。 ただし、舗装工事(新設及び修繕・補修)については、「Ⅰ. 秋田県土木工事共通仕様書参考 資料の工程計画管理基準(案)による場合」により工期設定を行うこと。
- 出させるものとする。
- 3 各種参考様式(別紙3~5)については、監督職員から現場代理人に提供するものとする。
- 4 発注者は、受注者に対し、別紙4を参考とした工事名標示板を現場に設置させるものとする。
- 5 受発注者は別紙5のアンケートを記入し、監督職員がまとめて技術管理課に提出するものと する。

附則

この運用は、平成29年5月30日から施行する。

附 則(平成30年3月27日技管-997 一部改正)

この運用は、平成30年3月27日から施行する。

附 則(平成30年10月15日技管-514 一部改正)

この運用は、平成30年10月15日から施行する。

附 則(令和元年6月7日技管-169 一部改正)

この運用は、令和元年7月1日から施行する。

附 則(令和2年3月13日技管-733 一部改正)

- 1 この運用は、令和2年4月1日から施行する。
- 2 この運用による改正後の秋田県週休二日制モデル工事に関する建設部運用の規定は、 令和2年4月1日以降に入札公告等(指名競争入札にあっては指名通知をいい、随意 契約にあっては見積依頼通知をいう。)を行う建設工事から適用する。

附 則(令和2年9月8日技管-299 一部改正)

- 1 この運用は、令和2年10月1日から施行する。
- 2 この運用による改正後の秋田県週休二日制モデル工事に関する建設部運用の規定は、 令和2年10月1日以降に入札公告等(指名競争入札にあっては指名通知をいい、随意 契約にあっては見積依頼通知をいう。)を行う建設工事から適用する。

附 則(令和3年3月11日技管-584 一部改正)

この運用は、令和3年4月1日から施行する。

附 則(令和3年6月7日技管-161 一部改正)

この運用は、令和3年7月1日から施行する。

附 則(令和3年9月9日技管-341 一部改正)

この運用は、令和3年10月1日から施行する。

3

	.争の場合、使用する公 発注概要書	告文例の「A.	入札参加資格等。	の「その他事項」	に下配内容を記載	76.				
	」									
こ事番号										
□事名										
L事場所	F									
5 定工期 予定工期										
工事概要	更									
予定価村	k		田(北井平	及び地方消費和	ガ た 会 ナ、 \					
ア正1四1	fì		円(消貨税	及ひ地方消貨化	光を含む。)					
\vdash		1								
\vdash										
٦										
制象										
加										
入札参加資格要件										
要 件										
					-					
	ı								1	
									ı	
\perp	_									
·本	工事は秋田県週休2	日制モデルコ	工事である。							
	工事は秋田県週休2 D他特記仕様書及び			真を確認すること	<u> </u>					
·そ0				真を確認すること	٤.					
・その そ の 他				頁を確認すること	- °					
・その や の し の				有を確認すること	£0					
・その そ の 他				真を確認すること	1 -0					
・その や の し の				真を確認すること	- °					
・その や の し の				有を確認すること	÷.					
・その や の し の				責を確認すること	1 -0					
・その や の し の			に記載した事項		٤.		99	新2		
・その その 他の 事項 _{共通}			に記載した事項	夏を確認すること 仕様 書	- 0		別	纸2		1
・その他の事項			に記載した事項		九 容		91	K 2		ŝ
・その その他の事項 共通編則	の他特記仕様書及び	現場説明書	特記(士 様 書	内 容 	要領」及び「秋田祭者		K 2		
・その その他の事項 共通編則	D他特記仕様書及び 項 目(節)	現場説明書	特記(士 様 書	内 容 	要領」及び「秋田県港		新2		1
・その その他の事項 共通編則	D他特記仕様書及び 項 目(節)	現場説明書	特記(士 様 書	内 容 	要領」及び「秋田祭え		新2		9
・その その他の事項 共通編則	D他特記仕様書及び 項 目(節)	現場説明書	特記(士 様 書	内 容 	要領」及び「秋田県道		Ж 2		9
・その その他の事項 共通編則	D他特記仕様書及び 項 目(節)	現場説明書	特記 化・モデル工事の実施に エ本に関する地設部	士 様 書 ついては、「秋田県遷 運用」に基づいて実施	内 容 	要領」及び「秋田県道		K 2		
その他の事項	項 目 (節) 水2日制モデルエ事	現場説明書	特記 化・モデル工事の実施に エ本に関する地設部	士 様 書	内 容 	要領」及び「秋田県社		新2		9
その也の事項 共幸 縦1歳 選州 選州 場合	の他特記仕様書及び 項 目 (節) ************************************	現場説明書	特記 化・モデル工事の実施に エ本に関する地設部	士 様 書 ついては、「秋田県遷 運用」に基づいて実施	内 容 	要領」及び「秋田祭え		新 2		
その他の事項 共幸 様々ののの場合 現金のの場合 場合 場合	の他特記仕様書及び 項 目 (節) *** *** *** *** *** *** *** *** *** *	現場説明書	特記 化 ・モデルエ事の実施に エ本に関する卓設部 現場説明:	士 様 書 のいては、「秋田県遷 選用」に基づいて実施 書 (条件明示)	内 容 	要領」及び「秋田県道		Ж2		
その他の事項 共幸 様々ののの場合 現金のの場合 場合 場合	の他特記仕様書及び 項 目(節) **2日制モデル工事	現場説明書	特記 化・モデル工事の実施に ・モデル工事の実施に 現場説明: ・その他の条件は次のは ・その他の条件は次のは	士 様 書 ついては、「秋田県遷 選用」に基づいて実施 書 (条件明示)	内容 株2日朝モデル工事実施 するものとする。 科)、共通仮設費及び現		個体2日制モデル			9
その他の事項 共幸 様々ののの場合 現金のの場合 場合 場合	の他特記仕様書及び 項 目 (節) *** *** *** *** *** *** *** *** *** *	現場説明書	特 記 4 ・モデルエ事の実施にあれて主事に関する権政部 現場説明: ・その他の単元事件は次の ・本工事は、本工事は、本工事は	士 様 書 ついては、「秋田県英雄 一部では、「秋田県英雄 一部では、「秋田県英雄 「本田」に基づいて実施 「本田」に基づいて大。 「大田県英雄 「大田県英雄 「大田県英雄 「大田県英雄 「大田県英雄 「大田県英雄 「大田県大田県大田県大田県大田県大田県大田県大田県大田県大田県大田県大田県大田県大	内容 株2日朝モデル工事実施 するものとする。 科)、共通仮設費及び現	楊管理費に 4 週 8 体に	関体2日制モデル	Ť		
その他の事項 共幸 様々ののの場合 現金のの場合 場合 場合	の他特記仕様書及び 項 目 (節) *** *** *** *** *** *** *** *** *** *	現場説明書	特 記 4 ・モデルエ事の実施にあれて主事に関する権政部 現場説明: ・その他の単元事件は次の ・本工事は、本工事は、本工事は	士様書 のいては、「秋田県実施 正盛用」に基づいて実施 をとおりです。 を発展を、機行っていませた。 が常度・保持っていませた。 はないて4週8をはまた。 はないて4週8をはまた。 は近くます。4週6体に	内 容 休2日制モデル工事実施 するものとする。	楊管理費に 4 週 8 体に	関体2日制モデル	Ť		Ä

-	別発注権 札参加資 ^{行号}					
事名	4					
事場定コ						
Æ-	- 79 7					
□事机	要					
予定 值	插格			円(消費税及び地方消費税を含む。)		
r	-					
L						
H						
礼 参						
鱼						
各 医 牛						
1		I				
			2日制モデル			
۔ ج	その他特証	2仕様書及で	び現場説明書	に記載した事項を確認すること。		
で の 也						
り						
頁						
						別紙 2
編				特 記 仕 様 書		171104 2
8月I	項 目(節)	条件	内 容		
週休	2日制モデバ	ン工事 <u>の対象</u>	指定型・	8注者指定型、受注者希望型:共通事項) モデル工事の実施については、「秋田県週休2日制モデル工事実施要領」/ 工事に関する建設部運用」に基づいて実施するものとする。	及び「秋田県週休2日制モ	デル
			受注者 希望型 (3	上手に向する地政即逐州」に近"ンパ"(天地するものとする。 <u>学注者希望型)</u> 本工事は、秋田県週休2日削モデル工事(受注者希望型)であるため、週4		A ##===
			Ė	本上をは、秋田県内と日間でプルムを「マに日間半早」くの公にの、西 計画書の提出前に発注者と協議を行い、週休2日の実施について発注者が計 デル工事として扱うものとする。	8めて指示した場合は、本:	工事をモ 工事をモ
				現場説明書 (条件明示)		
見場説 条件明	明事項					
の他			70.52 W	F TALL AND		
の他 st 圏休 2	e件 日制モデルコ	上事)	指定型 受注者	※注答指定型) その他の条件は次のとおりです。 本工事は労務費、機械経費(資料)、共通仮設費及び現場管理: 前提として補正を行っています。	費に4週8休以上の現場閉	所を行う
			希望型	前後として無正を行うしいます。 ・工期内において4週8休に満たない場合は、現場関所の達成状 補正を見直します。4週6休に満たない場合は補正は行いませ、	兄に応じて精算変更時に上 ん。	記経費の
			<u>(4</u>	注者希望型) その他の条件は次のとおりです。		
		- 1		 工期内において4週6休以上の現場関所が認められた場合は、 更時に労務費、機械経費(貸料)、共通仮設費、現場管理費及。 	************************************	、福県室